PRESS RELEASE

国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

2026 年 5 月 11 日

報道機関　各位

今、グローバルヒバクを考える
映画「SILENT FALLOUT（サイレント・フォールアウト）」
上映・監督との討論会

長崎大学医学部医学科では、授業の一環として、ドキュメンタリー映画「SILENT FALLOUT」の伊東英朗監督をお招きし、上映会・討論会を開催します。医学部生がグローバルヒバクについて深く知り、問題解決に向けて一人一人ができることは何かを議論します。ご取材いただける場合は、下記お問い合わせ先まで事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【趣旨】米国での核実験による放射能汚染の被害実態を追ったドキュメンタリー映画「SILENT FALLOUT」を鑑賞し、放射能汚染の事実とそれに科学的根拠をもとに立ち向かった母親たちの姿を知り、問題解決のために今、そして今後自分たちができることは何かを考える。

【対象】①医学科 1 年次　②学生・教職員

【日時と会場】

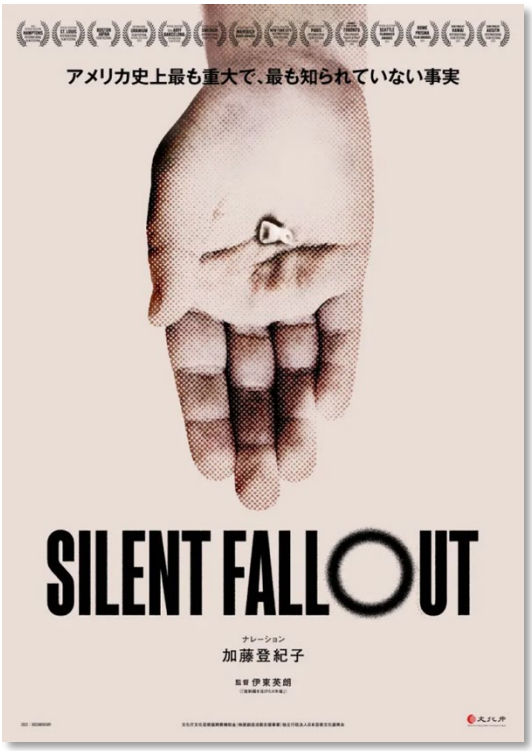
①医学科 1 年次対象

上映会：2026 年 5 月 25 日（月）11:10 – 12:25
長崎大学坂本キャンパス 第二講義室

討論会：2026 年 5 月 26 日（火）8:50 – 11:00
長崎大学坂本キャンパス 第二講義室

②学生・教職員対象

上映会・討論会：2026 年 5 月 25 日（月）17:30 – 19:00
長崎大学病院　第四講義室



【映画概要】

アメリカ政府によって大陸に落とされた 101 個の原子爆弾による放射能汚染。しかし、アメリカ政府はそのことを国民に隠した。
「このままでは我が子が放射能で殺される」
立ち上がったのは、母親たちだった。母親たちはユニークな方法で子供の放射能汚染を科学的に証明した。そして、その事実はケネディ大統領をも動かした。
（参照：「SILENT FALLOUT」HP＜https://fallout22.com/＞）

【本リリースに関するお問い合わせ先】
長崎大学医学部医学科先端医育センター（担当：牟田久美子）
TEL：095-819-7987　　FAX：095-819-7989